

令和5年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：24004

学校名：大谷地小学校

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果			分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力、長座体前屈、20m シャトルラン 50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ	○前回の記録より下回った種目 上体起こし、反復横跳び	男女ともに、中休みの外遊びを原則としていること、50mレーンを常設していることから、走力の項目では男女共に成果がみられる。敏捷性と筋力に課題がある。体育の授業の準備体操などで敏捷性を高める運動や筋トレなどで筋力upの取組が長期的に全校で必要である。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 長座体前屈、20m シャトルラン 50m 走、立ち幅とび	○前回の記録より下回った種目 握力、上体起こし、反復横跳び、ソフトボール投げ	
運動・スポーツへの意識、運動習慣	「運動が好き」と回答した子どもの割合 男子 94.7% 女子 87.1%	「コロナ前と比べた運動やスポーツをする時間が減った」と回答した子どもの割合 男子 54.4% 女子 50.0%	運動は好きであるが、進んで自分から取り組んでいないため、コロナ禍で運動やスポーツに取り組む時間が減った子どもの割合が増えている。進んで運動に取り組む手立てが必要。
三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③健康に関する指導の充実
具体的な取組	○どの子ども運動に楽しさや喜びを実感できる授業に向けての研修を定期的に行う。 ○体育や保健の学習において、ICTを活用した授業について探る。 ○日常的に運動を意識することができる校内掲示と環境の整備を図る。 ○小学校低・中・高、小中連携の一環で取り組みの交流をし、成果と課題を見出し、指導の連続性を図る。	○スポーツ委員会の子どもたちと協力し、校内に「アスリートに挑戦！」の掲示物を作成している。 ○だれでもすぐにできるように、外に「ケンパロード」「50m走コース」を常時設置している。 ○休み時間の「外遊び推奨」を全校で行い、休み時間には外に出て、体を動かす時間をつくっている。教室掲示で「外遊びの必要性」についても呼びかける。 ○「校内ランキング」を掲示し、各学年の上位記録者が分かるようにしている。	○「休み時間は、外で元気に遊ぶ」を原則。また、雪像づくり、尻滑り、雪合戦など、札幌らしい特色ある冬活動を充実していく。 ○運動領域と保健指導及び教科等横断的な視点での関連づけを行い、カリキュラムを推進していく。 ○保健、食育の年間指導計画の充実。 ①養護教諭、栄養教諭と協力して授業作りを行う。 ②こころ・からだ・いのちの指導、歯の保健指導、食育など、外部人材を活用する。
検証の方法	○大谷地小学校独自の「運動や健康に関するアンケート」を4月に各学年で実施 ○学校評議員会・学校関係者評価等の活用		